



小規模多機能型居宅介護 大空  
認知症グループホーム 大地

高根沢町  
認知症伴走型支援事業

もの忘れ相談センター  
受託施設



施設に入るのは  
ちょっと、まだ・・・。  
でも、大変・・・。  
柔軟なサービスで  
在宅生活をぎりぎり  
まで支えます。

ほうむ  
高齢者介護施設 宝夢

<http://houm.jp>



TEL:028-666-5666  
高根沢町宝積寺2424-18

高根沢町唯一 在宅介護のワンストップサービス

## 小規模多機能型居宅介護 大空

通い（デイサービス）、泊り（ショートステイ）も  
24時間365日、利用回数の制限なく利用できる！

### 生活に合わせてサービス利用

例えば、通常のショートステイを利用する場合、何か月も前から予約が必要だったり、デイサービスの利用時間には制限がありますが、小規模多機能型居宅介護は生活に合わせた早朝から夕食後までのデイサービスや、急なショートステイもお部屋が空いていればいつでも対応可能です。

### 介護の負担軽減

泊り、通い、訪問、ケアマネが一つの事業所のため、契約も利用変更の連絡先も一つだけ。利用料金は月額定額制で利用制限なく、介護保険限度額を気にすることなく、利用できます。泊りを増やしたり、夕食まで利用することも臨機応変に対応できます。

### 少人数で顔なじみのスタッフ

1つの事業所が通い、泊り、訪問のサービスを提供するため、顔なじみのスタッフからどのサービスも受けることができます。新しい環境に馴染むことが苦手な方や、環境の変化に敏感な方などにとっては、顔なじみのスタッフからサービスを受けることができるので安心です。

### 状況変化に強い

中重度の要介護者が在宅生活を継続するための小規模多機能型居宅介護。ケアマネがサービス提供事業所にいるため、状況の変化をすぐに把握。状況に合ったサービスを臨機応変に対応。施設入所準備に利用する方も多いです。

高齢者介護施設 宝夢の最新情報をお届けします。



高齢者介護施設宝夢



houm\_kaigo



宝夢の日常



利用例を  
紹介します



高齢者介護施設 宝夢

## 小規模多機能型居宅介護 大空



**A様** 要介護1

週4日 通い(デイサービス)  
週1日 泊り(ショートステイ)

ご家族は少しでも多くの日数を通えるなら通ってもらいたいが、介護サービス利用拒否のあったA様。始めは週1日からとし、少しでも慣れてくる様子があれば、翌月を待たず、すぐに利用日数を増やしていきましました。

泊りも「無理かもしれないけど」とご家族は不安もありましたが、通いも泊りも同じ施設、職員が対応しているためスムーズに泊ることができました。始めは月1回、2週に1回と増やし、今は毎週泊りの利用をしています。



**B様** 要介護1

週2日 通い(デイサービス)  
週1日 訪問介護 月1日 泊り(ショート)

小規模多機能型を利用する前も介護サービスを使っていましたが、何かあってもどこに連絡していいのかわからず不便さを感じていたB様。複数のサービス事業所と契約するのは大変だし、連絡先が一つで済み、利用の相談先も一つで済み手軽さと利用変更の臨機応変な対応に納得されています。



**C様** 要介護2

週6日 通い(デイサービス)  
週1回 訪問介護

ご家族が遠方のC様。そろそろ独居生活は難しいと感じていたご家族。しかしギリギリまで自宅生活を続けて欲しいというお考えで、利用回数制限なく、いざとなったら泊り(ショートステイ)もできる小規模多機能型居宅介護を希望されました。毎日の送迎時に自宅の異変のチェックや家電のON、OFF、食事準備支援などを行い、ご家族と随時情報共有しました。夜間の独居が困難と判断した時点で泊り(ショートステイ)の対応行いましたが、同じ建物、なじみの職員が泊りも対応するため、拒否なく泊まることができました。泊りの施設生活中心をしながら、併設のグループホームの空きを待つことになりました。



**D様** 要介護4

週7日 泊り(ショートステイ)

入院し、退院後の在宅生活に不安のあったD様とご家族。空いている施設にとりあえず入るしかないと思っても施設入所も決めきれないため、小規模多機能型居宅介護の泊り(ショートステイ)を毎日利用し、今後について考える時間を設けました。まずは昼間だけの一時帰宅、3か月後には一泊帰宅、と帰宅を増やしていきましました。D様、ご家族共に宝夢中心の生活であっても、かつ、コロナ禍の中、在宅生活ができることを喜ばれています。



**E様** 要介護3

週6日 通い(デイサービス)  
早朝から夕食後まで

通い(デイサービス)の時間が長くても、夜は家がいいというE様の意向と、いざという時、泊り(ショートステイ)ができる安心が欲しいというご家族の意向で基本的には通いのみの利用です。転倒で入院した際には、退院直後は慣れた小規模多機能型居宅介護でしばらく泊りを行い、在宅が中心となる生活に戻ることができました。「宝夢利用していなかったら、泊まらせてくれるところを新たに探さないといけなかったから大変だったと思うよ。」とご家族様。

